

神奈鍼会報

第 132 号

平成23年9月10日発行

発行者 杉田久雄

編集者 太田修二



社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会

〒231-0065 神奈川県横浜市中区宮川町2-55 ルリエ横浜宮川町304

電話 (045)242-7790

FAX (045)242-7791

E-mail: kanasin@apricot.ocn.ne.jp

恒例「はりきゅうマッサージの日」イベント開催

総務部長 小野 久雄



平成23年8月7日（日）

横浜の中区山下公園の隣、ワークピア横浜が今年の「はりきゅうマッサージの日」イベント会場になる。

朝から好天に恵まれてはいたが、猛暑になるのではと、心配しながら会場に向かう。

午前9時イベントスタッフ（合計89名）と準備に取り掛かる。

本日の記念講演（県民公開講座）は「脳を活性化する笑いの力」と題して、中央群馬脳神経外科病院理事長の中島英雄先生を講師としてお迎えした。中島先生は落語家師匠である桂文治の門下で桂前治の芸名をいただき、寄席のある病院を開設、月に一度病院寄席を開催し患者さんや地元の人々に喜ばれている。特に寄席に来た入場者に落語を聞く前と後で検査をし（「脳波」「血糖値」「中性脂肪」「免疫力）各測定値の改善を研究しておられ、笑いが心身の状態を正常に戻す働きがあることを証明している。人類は笑うことで人間社会のコミュニケーションを良好にして、進化してきたとのお話にご来場の皆様より、絶賛の拍手があり笑いの力を改めて認識したようである。

午後より無料体験コーナー・各測定コーナー・相談コーナー・介護予防コーナーに分け実施。

【当日の結果】

- ①来場者 100名
- ②体験コーナー 90名
- ③介護予防コーナー 29名
- 相談コーナー 20名
- 身体測定コーナー

以上



体験コーナー

荒井 務

体験コーナーは、施術者31名、受付6名、学生（神奈川衛生学園）30名、ベッド10台にて施術開始。施術者はイベント経験者が多く順調に行う事が出来ました。お手伝いの学生は全員1年生で初めての体験、戸惑いもみられましたが、良い経験に成ったのではと思います。今回会場が3階にて来場者を心配しましたが、最終的にはマッサージ、はり施術を85名に行う事が出来ました。施術後のアンケート評価にて大変良く、我々鍼灸マッサージ業界のアピール、啓発の場として活用出来たと思います。

介護予防コーナー

林 秀卓

経絡ストレッチ→チェアエクササイズの流れで、3回実施いたしました。参加人数は延べ29人でした。

今回は、体験コーナーや他のコーナーと同じフロアでの実施ということもあり、私たちのコーナーに集まった方のみならず、各コーナーで順番待ちしている方も、やや離れているところから一緒に体を動かしているなど、大いにゼンシン体操のアピールになりました。やはり、音楽に合わせて楽しく行えたことが雰囲気を作り、好評だったのではないかと思います。

測定コーナー

西村博志

測定コーナーでは、横浜市健康局の保健師・看護師による血流量測定と、神奈川県体育協会職員による体脂肪測定が行われました。

血流量測定では、自身の血流量が何歳に相当するかが分かり、検査を受けた方々は興味津々、保健師・看護師の説明に耳を傾けていました。体脂肪測定コーナーでも、測定後の丁寧な説明やアドバイスに、満足されていた様子でした。

今回は隣に介護予防コーナーもあり、待ち時間に見学や、体操に参加される方もあり、ゼンシン体操のアピールに少し貢献できたのではないかと思います。

相談コーナー

小沢繁之

担当 小沢、梅田（春樹）、角田、太田の各理事
対応 20名程度

内容 一般来場者よりの各種相談の受付と対応

相談内容は「はりきゅうマッサージが現在の自分にとって適切な医療なのか」、「どこへいったら適切な施術が受けられるのか」などが大半をしめた。昨年も同じような傾向があったが、一人の相談内容が多岐にわたるものや、相談者の知識の向上により専門的な医療部門の内容も多く、一人に数十分必要とする事例もいくつか見受けられた。

本会とホン業界にとって、PRイベントにおいては、社会的な啓蒙とニーズに照らして、相談事業はもっとも重要であり今後も充実させていかなければならないと決意を新たにしました。

会場誘導並びの会場外勧誘

大淵 真

反省点はいくつか有るが、何より学生さんたちが元気よく動いてくれた事に、とても清々しく、気持ちのいい思いをすることが出来た。やらされている、という様な態度をする者は一人もいません。むしろ、楽しみながら一般の方の勧誘や誘導を行ってくれた。それを見て、私は忘れていた何かを得たような感じがしました。もちろん青年女性部の面々は、受付も含め、言うまでも無くテキパキこなしてくれました。『任せて安心!』とはこういうことを言うんだなあ!感謝、感謝!

《反省点》

- ・ティッシュ2000枚は量が多すぎた、去年も1000枚近く余っていたのを把握していなかった。来年も配るとするなら、1000枚で十分だろう。
- ・学生の会場外担当者10名が全員同時に食事をしてしまった。その間、会場外の勧誘は少ない人数で行わなければならなかった。5名・5名の交代で食事する等、事前に指示すべきでした。
- ・あまり遠方での勧誘は来場に結びつかない。全くとは言わないが会場入り口付近に比べると1:9位の割合だろうか?来年は会場入り口付近の人通りの多い場所で開催出来たら勧誘は容易だと思う。

学術部報告

第1回学術講習会報告

日 時：平成23年6月5日（日）13時～ 場 所：鎌倉市福祉センター

【第1講】 地域健康づくり指導者研修会

講師 林 秀卓

1. 「神奈鍼の研修要綱の変更について」及び修了証・認定証についての説明があった。
2. 地域支援事業の現状の説明。
平成19年以降の状況と地域支援事業の一部改正等。
3. 介護予防教室の流れ
4. 体力測定の実施方法を①握力②開眼片脚立位③長坐位体前屈他を体験した。

【第2講】 スポーツ講習会「応急処置・運送法・リスク管理」

講師 朝日山 一男

今年度から行われるスポーツ講習会の目的の説明が行われた。

1. アスレティックトレーナーの業務。
2. スポーツ現場における救急処置
3. 機能評価に必要な検査測定
4. R I C E 処置の徹底（R休息 Iアイシング C圧迫 E拳上）
最後に簡易担架で人を運ぶことの大変さ、けがをして片足が動かない人の動かし方等を実際にやってみました。

【第3講】 「耳針法」理論と実際

講師 鷹暢（リー・ヨウ）先生

耳針概論…「黄帝内経」に「耳の悪い所を見てその病気の性質を知る」という記述がある。耳穴分布、耳穴診断、電気測定器についての講義を聞き、耳針の針刺法、貼圧法、埋針法、瀉血など実技を行った。

また花粉症など実際の疾病を想定した質問がたくさんありすぐに役立つ手法を学んだ。

【第4講】 「舌診法」理論と診方

講師 鷹暢（リー・ヨウ）先生

①舌診概論では「望・聞・問・切」を「外見で状態を把握する望は神、声や匂で把握する聞は聖、質問で把握する問は工、経脈で把握する切は巧み」とし、舌診は望診を用いた診察方法である。②舌診の診方（舌質と舌質）③舌診の注意事項④舌診の臨床応用の講義があった。

短時間でしたが、先生の伝えたいという意思が伝わってくる講義でした。

今年度から受講カードが「健康づくり指導者」と「フィールド研修」を加えて3枚になりました。毎回お忘れにならないようお願いいたします。

第3ブロック学術委員 沢田 昌子

第38回学術大会報告

日 時：平成23年7月3日（日）

場 所：湘南医療福祉専門学校

【第1部】 演題：「トリガーポイント鍼療法」～理論と実技～
講師：明治国際医療大学大学院 伊藤 和憲 先生

【第2部】 「会員研究発表」 講評：明治国際医療大学大学院 伊藤 和憲 先生

第2ブロック：大西 雅士 先生

演題：フィールド施術における受診者の「不快であるという評価」を検討する

第3ブロック：益田 尚 先生

演題：「鍼灸マッサージ師は急性腰痛をどのようにとらえ、どう施術しているか」

第4ブロック：倉塚 充夫 先生

演題：「逆子に対する灸療法」

第5ブロック：三鍋 太郎 先生

演題：「上肢痛を主訴とする頸椎症性神経根症に対する臨床例と治療法」

第6ブロック：渡部 裕市 先生

演題：「治療師の怒りの転換」

【第3部】 演題：地域健康づくり指導者研修会 「経絡ストレッチ指導法」
講師：林 秀卓 先生

【第4部】 演題：「鍼灸マッサージにおけるリスク管理」
講師：東海医療専門学校校長 杉山 誠一 先生

【第1部】

トリガーポイント（TP）とは筋・筋膜疼痛症候群に特徴的な圧痛部位であり、運動器疾患を中心とした筋・骨格系の痛みに対する治療法として発展。しかし筋肉由来の疼痛は、①痛みの原因となる筋肉と実際に痛みを感じる場所が異なること、②血液検査やX線検査などの一般的な検査では原因



因がわからない、などから筋肉の痛みについて正しい知識がないと原因不明の痛みとして見落とされてしまう。

TPを決めるポイントとして、①索状硬結、②症状の再現性、③局所単収縮反応、を指標に探すのが近道とのことで、経穴や単なる圧痛点とは異なるということを強調されていました。

【第2部】 講評

明治国際医療大学の伊藤先生のコメント。とても興味深いのは第3ブロックの演題で、現代医療と東洋医学的診断方法を用いても、アプローチや評価に大きな差がなかった点や、心理的要因も大きく影響していて、大学病院でも腰痛の評価に臨床心理士が参加しているケースもあります。今後、大学でもこのような研究が必要であり、研究のヒント頂けた。ただし、今回のテーマで仮説として心理的要因の根拠となる情報や東洋医学診断の根拠を明らかにすると、もっと良いのではないかと。



第4ブロックの症例数は圧巻。逆子の治療もあるが、分娩時間が短いとの感想もあるとのことで追試に期待。

第5ブロックの理学的所見がすばらしい。一つ一つの積み重ねが大事と実感。

第6ブロックの発想がとても良いとのこと。逆の視点で、モンスターセラピストになっていないかという問い掛けも大事。日頃の臨床が忙しい中、それぞれの視点で考察されており非常に感銘を受けたとのことでした。

【第3部】

今年度、第2回目の研修会では、経絡テスト、経絡ストレッチを学んだ。ポイントの説明後、経験豊富な指導者のもと4グループに分かれ持ち回りで実技を行った。次回は10月16日の予定。



【第4部】

講師の杉山先生よりプロフェッショナリズムとしての10の責務の説明があった。
①プロとしての能力 ②患者に対して正直 ③患者の秘密を守る ④患者との適切な関係維持 ⑤医療の質の向上 ⑥医療へのアクセス向上 ⑦医療資源の適正配置 ⑧科学的な知識 ⑨利害の衝突の管理 ⑩プロとしての責任

鍼灸マッサージ臨床におけるリスク管理を徹底する上で、施術者の上記の10項目のプロフェッショナリズムを涵養することが重要であり、そのための卒前および卒後教育が必要。特に求められるのは、「鍼灸マッサージ師を育成することは先輩鍼灸マッサージ師の使命」という強い意識であり、業団体や教育機関など斯界全体でプロフェッショナリズム教育に取り組んでいくことが重要とのことであった。質の良い研修会を開催していくことで、その一翼を担っていきたいと思った。

第4ブロック学術委員 西村 博志

◆ 第2回学術講習会のご案内 ◆

平成23年度第2回学術講習会を開催いたします。

この研修会は、東洋療法試験財団（厚生労働省直轄）の生涯研修認定講習会となっております。つきましては、標記講習会を下記の要領で開催いたしますので、万障繰り合わせてご参加くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

- 日時 平成23年10月16日（日） 12：30開場
- 会場 小田原市民会館 第7会議室 小田原市本町1丁目5-12
JR・小田急線 小田原駅下車徒歩7分

【第1部】 13：00～13：45

演題 地域健康づくり指導者研修③「ゼンシン体操指導」
講師 東京衛生学園専門学校 臨床教育専攻科非常勤講師
小川 眞悟 先生

【第2部】 13：45～14：30

演題 スポーツ講習会②
「現場でのストレッチング・アイシングなどの対処法」
講師 神奈川衛生学園専門学校 専任教員
朝日山 一男 先生

【第3部】 14：45～17：45

演題 「PNFについて」～理論と実技
講師 神奈川衛生学園専門学校 講師
内田 真弘 先生



東日本大震災ボランティア活動に参加して

学術次長 朝日山 一男

まだ、がれきの撤去が進んでいない5月7日、南三陸町の方々が避難されている栗原町のウエットランド交流館、延年閣、一迫老人福祉センター、花水コミュニティセンターの4施設でマッサージのボランティア活動を行ってきました。

宮城師会の佐藤先生、高橋先生の案内で、それぞれの施設を車で案内していただき、無事終了することができました。「仮設住宅に入ってからユックリ考えます」「目の前で多くの方が流されていくのを目の当たりにし、思い出すと眠れません」など、悲痛な思いの中にもあわてずゆっくりと生活を見据えようとする姿にこちらが励まされる思いでした。

6月19日、名取市の亘理町消防署、山元町消防署、山元町ボランティアセンターにおいて、消防職員の方及び、ボランティア活動をされて帰ってこられた方々の施術を行いました。思いがけない支援に大変感謝され、支援者のための支援も大切であると感じました。



7月17日は、前日遠野にある小川眞吾先生宅に泊めていただき、翌日、陸前高田市でボランティア活動を行ってきました。民間のボランティア団体大根コンプロジェクトの方々に案内していただき、4グループに分けて高田病院、給食センター、仮設住宅、伊藤文具店、荒木宅、長谷部コミュニティセンターなどで活動を行いました。町

はがれきがかなり片付けられているものの、鉄筋の病院などの建物が無残な姿で残っている以外は、跡形もなく、コンクリートの土台だけが町の痕跡を残している状況でした。

私たちは、遠慮がちに、これらの地域を訪れるのが悪い気がしていましたが、遊びでもいいからぜひ来てください、この現実をぜひ見てくださいと訴えておられる声に、私たちは、1000年に一回の大被害をしっかりと目に焼き付け、今後の教訓することと、そして被災者の方々の支援に力を注いでいく必要がある事を切に感じました。

現在、合計で181名の方々の施術を行いました。

*** ボランティア参加の皆さんご苦労様でした。現在までのボランティア参加者です。**

- 5月 7日 小川眞吾、沢田昌子、佐藤隆一郎、朝日山一男
- 6月19日 梅田春樹、渡辺大芳、藤本温、広瀬徹、内山榮子、田代広伸、白鳥淳子、安池一公、朝日山一男
- 7月17日 田代広伸、善本真人、安池一公、三鍋太郎、石綿絢一、林秀卓、沢田昌子、広瀬徹、小川眞吾、佐山ゆかり、中島宏平、松野徹、朝日山一男

*** 会員の皆さん、是非現地に赴いてみてはいかがでしょうか。**

ブロック情報

2011年度 西湘三療連絡協議会開催

- ◆日時 7月7日（木）午後3時より
- ◆会場 箱根 湯本富士屋ホテル
- ◆参加者 小田原保健福祉事務所 2名 小田原警察署 1名
箱根師会 山田 安藤、木下、三堀 小田原師会 奈良、安藤
湯河原師会 田代、白鳥 計11名
- ◆議題 1. 保健所からのお知らせ
2. 本年度表彰について
3. 無資格者問題

なかなか埒のあかない無資格者問題！

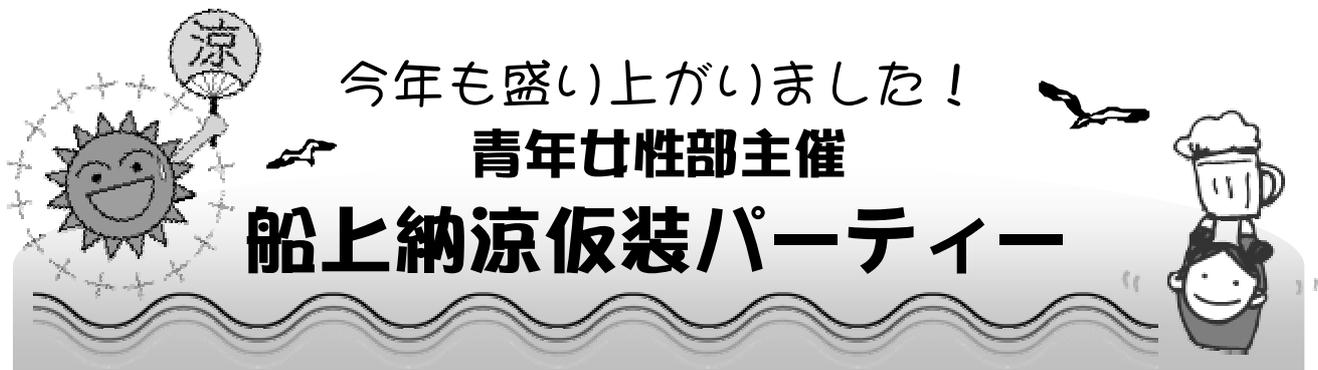
そこで“実際に無資格整体を置いているホテルの実態を保健所の職員さんと警察の署員さんに見物して頂こう”と箱根湯本富士屋ホテルを会場に協議会を開催することになりました。終了後実施。

保健所も警察も《法の範囲で》かなり前向きに真摯に取り組んでいると思いました。

小田原保健所のホームページに掲載されている、あん摩マッサージ指圧、はり、灸、柔道整復についての欄には資格が必要なこと、有資格者の施術を受けて頂きたい旨が明示されており、ダウンロードしたパンフもお持ちいただきました。また、このパンフの下余白に有資格者名を記入できる事も可能、等有意義な会合になりました。

第5ブロック広報 白鳥 淳子





今年も盛り上がりました！

青年女性部主催

船上納涼仮装パーティー



8月7日(日)『はり・きゅう・マッサージの日』のイベントの後に青年女性部が主催する納涼仮装パーティーが行われました。



夏の真只中、とても暑い日でしたが200名を超える多くの会員や会員のご家族、ご友人が参加してくださいました。くじ引きによる抽選では杉田会長から「ルイ・ヴィトン」のカバンが提供され、当選した20代女性は大喜びでした。しばらくして当選したその方から私にお礼の電話が入りました。

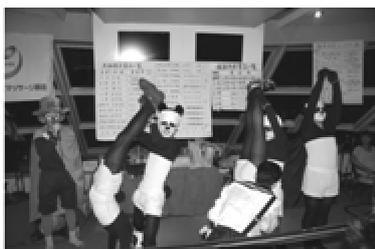
20代女性：「素敵な景品ありがとうございました！」



私：「私は何もしていません。景品提供は杉田会長ですよー！」

20代女性：「そうですか！杉田会長にくれぐれもよろしくお伝えください」

この様なやり取りもありました。よほど嬉しかったのでしよう。どの様に調べたのか？私の携帯番号まで調べて連絡くれました。その方に限らず、当選された皆さま、おめでとうございます。



そして、杉田会長をはじめとする、景品提供にご協力いただきましたスポンサーの皆さま、ありがとうございました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。



仮装大会にエントリーしたのは10組以上！その中で最優秀賞に輝いたのは、小学生の男の子！『どどすこすこすこ・どどすこすこすこ・鍼ちゅうにゅー』って…鍼灸マッサージ師の私には、目から鱗の一発芸でした！とても可愛らしくパフォーマンスして見事最優秀賞を手に入れました。



震災後の影響もまだまだ多い中、この時ばかりはそのことも忘れ、皆が一丸となって盛り上がり、とても楽しめたパーティーでした。やはり、元気の発信は神奈川からだなあーと思えた1日でもありました。

青年女性部長 大瀨 真

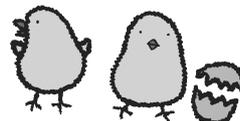
厚生部からのお知らせ

ご結婚おめでとうございます



♥ 鎌倉逗葉師会 林 秀卓 様

ご出産おめでとうございます



♣ 秦野師会 大屋 芳和 様
♣ 小田原師会 鍋山 晃浩 様
♣ 横須賀三浦師会 泉田 博之 様
♣ 浜鍼師会 矢田 光輝 様
♣ 浜鍼師会 喜安 亮介 様



義援金について



会員の皆様におかれましては平素より義援金活動につきまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝いたします。

第80回定時代議員会総会におきまして、厚生部事業計画として「東日本大震災」義援金300万円を計上しご承認を頂き、平成23年5月18日全鍼師会口座に振り込みました事をご報告申し上げます。

又、厚生部義援金箱は現在累計24,201円となり送金いたしました。

尚、神奈鍼口座及び全鍼師会口座に直接振り込まれた方の個人名・団体名は下記の通りです。

(敬称略)

【神奈鍼口座】

藤本 温、太田 耕作、大沼 和江、馬場 三保子、嶽肩 ヤス子、小澤 繁之、佐藤 博由、鈴木 静夫、湯河原はり灸マッサージ師会、横浜市鍼灸マッサージ師会、箱根鍼灸マッサージ師会、藤沢師会、匿名1名

【全鍼口座】

小川 眞悟、大澤 輝子、池田 信幸、深谷 大介、君嶋 忠勝、和田 茂

以上

入会者名簿（会報第 131 号以降）

師 会 名	会員番号	氏 名	入会年月	師 会 名	会員番号	氏 名	入会年月
藤 沢	再1752	中 村 永 子	S56年10月	浜 鍼	4228	加 藤 みどり	H23年6月
浜 鍼	4211	石 村 博	H23年6月	浜 鍼	4229	渡 辺 一 平	H23年7月
川 崎	4212	塩 野 卓 也	H23年5月	浜 鍼	4230	外 間 元 康	H23年7月
茅ヶ崎寒川	4213	仁 科 昌 樹	H23年6月	浜 鍼	4231	仙 波 雄 介	H23年7月
浜 鍼	4214	永 野 正 治	H23年6月	箱 根	4232	山 田 浩 嗣	H23年7月
浜 鍼	4215	加 藤 陽 介	H23年6月	大 和	4233	高 橋 有 子	H23年7月
浜 鍼	4216	小 林 敬	H23年6月	浜 鍼	4234	小 菅 史 泰	H23年8月
平 塚	4217	山 門 誉 宗	H23年6月	藤 沢	4235	叶 政 勝	H23年7月
平 塚	4218	尾ヶ瀬 汐 里	H23年6月	浜 鍼	4236	松 本 和 磨	H23年8月
浜 鍼	4219	黒 瀧 祐 紀	H23年5月	浜 鍼	4237	永 田 宏 子	H23年8月
浜 鍼	4220	吉 田 奈 央	H23年6月	平 塚	4238	櫻 井 恵理香	H23年8月
浜 鍼	4221	岡 田 雄 大	H23年6月	浜 鍼	4239	鈴 木 清 美	H23年8月
鎌倉逗葉	4222	小 田 良 実	H23年6月	秦 野	4240	秋 田 力 野	H23年8月
浜 鍼	4223	三 村 努	H23年6月	川 崎	4241	新 井 芳 隆	H23年8月
川 崎	4224	寺 島 真里奈	H23年6月	川 崎	4242	鶴 田 良 彦	H23年8月
川 崎	4225	和久井 慧子	H23年6月	鎌倉逗葉	4243	林 志 乃	H23年4月
浜 鍼	4226	澤 田 優 子	H23年6月	浜 鍼	4244	桐 谷 ゆり子	H23年8月
藤 沢	4227	高 橋 信 光	H23年6月				

退会者名簿 (会報第 131 号以降)

師 会 名	氏 名	退会年月
浜 鍼	新 保 貴 裕	H23年03月
浜 鍼	渋谷 憲 三	H23年03月
浜 鍼	町 田 宣 和	H23年03月
浜 鍼	福 田 剛 史	H23年03月
大 和	秋 田 力 野	H23年04月
浜 鍼	徳 元 仁	H23年04月
浜 鍼	城 山 秀 平	H23年04月
川 崎	下 田 正 弘	H23年04月
相 模 原	村 上 和	H23年05月
茅ヶ崎寒川	白 石 友 和	H23年05月
川 崎	大 庭 陽 平	H23年05月
茅ヶ崎寒川	神 秀 一 郎	H23年05月
浜 鍼	森 信 彦	H23年05月
平 塚	櫻 井 理 加	H23年05月
藤 沢	黒 田 伸 二	H23年05月
横須賀三浦	高 橋 展 章	H23年05月
厚 木	澤 田 正 雄	H23年05月
浜 鍼	山 下 仁	H23年05月
秦 野	丸 山 やよい	H23年05月
秦 野	大 屋 芳 和	H23年05月

師 会 名	氏 名	退会年月
川 崎	関 奈穂子	H23年06月
浜 鍼	山野井 理 絵	H23年06月
伊 勢 原	千 葉 裕 里 子	H23年06月
浜 鍼	三 浦 誠	H23年06月
湯 河 原	岩 田 トシ子	H23年06月
湯 河 原	野 間 力 也	H23年06月
小 田 原	黒 澤 政 人	H23年06月
小 田 原	木 村 千 絵	H23年06月
厚 木	村 越 章 浩	H23年06月
浜 鍼	安 藤 ひとみ	H23年06月
小 田 原	山 口 信	H23年06月
横須賀三浦	佐 藤 和 綱	H23年06月
浜 鍼	古 川 雅 人	H23年06月
川 崎	塩 野 卓 也	H23年07月
小 田 原	小 島 徹	H23年07月
浜 鍼	和久井 美 里	H23年07月
茅ヶ崎寒川	武 田 朋 也	H23年07月
浜 鍼	紀 飛	H23年07月
浜 鍼	永 野 正 治	H23年07月

